

# 会長就任の御挨拶

西日本旅客鉄道㈱・アサヒビール㈱

名誉会長 村井 勉



このたび、会員の皆様のご推挙を得まして日本オペレーションズ・リサーチ学会の名誉ある会長をお受けすることになりました。伊理前会長はじめ歴代の会長は、まさにオペレーションズ・リサーチの理論あるいは実践にと華々しいご経歴をお持ちの方ばかりでありまして、私のように実業界のみを歩んでまいりました門外漢にとりましては、いかほどのお役に立てるかといささか心配しております。

ただ、私個人は別にしまして、現在私が籍を置いておりますJR西日本の前身である国鉄におきましては、ORを車両管理や貨物輸送等へ幅広く応用していたようであり、また学会にも多数参加していたと聞いております。

私は、これまで学業を終えた後の人生におきまして、自分の希望ではない道ばかりを歩いてまいりましたが、今回の大役も「天の配剤」としてお受けし、学会の発展に少しでもお役に立てれば、と思っております。

私共経営者にとりましては、「変化への対応」は企業が生き抜くための必須条件であります。私自身はこれまで、どちらかといえば経験と勘によってのいできたわけではありますが、意思決定にあたってもう少ししっかりとした判断材料があれば、と思うこともたびたびでありました。

過去、わが国の経済は素晴らしい発展をとげてまいりました。

日本流の経営がもてはやされ、日本の経営者の多くはその成功に酔い、やや慢心していたのではないかと思います。

ところが、急激な変化に遭遇して、こうした変化を正しく読みとれず、また、たとえ認識はでき

たとしましても、新しい流れに対して適切な手が打てずに、悩み、苦しんでいるというのが現在の日本の経営者のいつわらざる姿ではないでしょうか。

今、日本の経営者が最も求めていることの1つは、こうした新しい時代に合った経営はどうあるべきか、そしてそれを実現するための新しい経営手法は何か、ということだと思います。

こうした悩める経営者に対して、OR学会として時代の変化に合った適切な提言をすることができれば、OR学会の将来はさらに素晴らしいものになると確信しております。

また、本年はアジア・太平洋地域OR学会連合の第3回大会が計画されております。

今後ますます緊密な関係になるアジア諸国との親交を深める絶好の機会でもありますので、ぜひとも成功させなければと思っております。

以上、会長就任にあたり思うままに述べさせていただきましたが、この先2年間、会員の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の御挨拶とさせていただきます。